

都道府県・政令指定都市名	39 高知県
--------------	--------

時点:2022年4月1日(特に記述のある場合を除く)

問1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総合的に所管する組織

局 部 課 ( 室 ) 名	子ども・福祉政策部 人権・男女共同参画課
担 当 職 員 数	6 人 (専任 4 人、兼任 2 人)

問2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名 称	高知県男女共同参画推進本部
設置年月日(西暦)・根拠	1976年7月23日 根拠: 高知県男女共同参画推進本部設置規定
長 の 役 職	知事

問3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等

機 関 ・ 会 等 の 名 称	こうち男女共同参画会議
設置年月日(西暦)	2004年4月1日
構 成 員	15 人 (女性 9 人、男性 6 人)

問4 男女共同参画に関する計画

計 画 期 間 ( 西 暦 )	2021 年 4 月 ~ 2026 年 3 月
名 称	こうち男女共同参画プラン
改定・見直しの予定時期	2026年3月 未定の場合
1. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」という。)の推進計画と一体である	1
2. 女性活躍推進法の推進計画と別に作成	

問5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名 称	高知県男女共同参画社会づくり条例
	公 布 日 ( 西 暦 )	2003年12月26日
	施 行 日 ( 西 暦 )	2004年4月1日
	最 終 改 正 日 ( 西 暦 )	
	改 正 内 容	
	改正が予定されている場合、改正予定時期(西暦): 年 月	
無の場合	1. 制定等について検討中 具体的な状況:	
	2. 特に検討していない	

問6 審議会等委員への女性の登用

調査時点コード		1:2022年4月1日	2:その他(西暦)	2022年5月1日
目 標 値	(西暦) 2025 年度まで	50 %		
根 拠	こうち男女共同参画プラン			
目標設定の対象である審議会等の範囲	法令、条例及び要綱等で設置されている附属機関及び協議会等(辞令交付を伴うもの)			
目標設定の対象である審議会等における登用状況	調査時点コード	2	審議会等数( 136 )うち女性委員を含む審議会等数( 124 )	
			延総委員等数( 1,710 )延女性委員等数( 537 )	女性比率( 31.4 )
地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等における登用状況	調査時点コード	2	審議会等数( 77 )うち女性委員を含む審議会等数( 69 )	
			延総委員等数( 1,186 )延女性委員等数( 386 )	女性比率( 32.5 )
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況	調査時点コード	2	審議会等数( 38 )うち女性委員を含む審議会等数( 34 )	
			延総委員等数( 621 )延女性委員等数( 182 )	女性比率( 29.3 )
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況	調査時点コード	2	審議会等数( 9 )うち女性委員を含む審議会等数( 8 )	
			延総委員等数( 66 )延女性委員等数( 18 )	女性比率( 27.3 )
目標値以外の目標設定	改選時に少ない性の委員を1名以上増やした審議会の割合(一方の性が40%未満の審議会対象)を90%以上			
女性登用方針	人材名簿作成の有無	1. 有 2. 無 3. 作成予定有	1	有の場合、1. 公表 2. 非公表 1
	人材名簿が有る場合	掲載人数	470 人	( 2021 年 12 月現在)
	そ の 他	人材育成事業の実施の有無(1. 有 2. 無)	2	
		委員の公募(1. 有 2. 無)	2	
		そ の 他	( )	

問7 女性公務員の採用・登用状況

問7-1 管理職の在職状況

調査時点コード		1:2022年4月1日	2:その他(西暦)										
	管理職総数	(人)	うち女性管理職数(人)	女性比率(%)	女性管理職の内訳								
					部局長相当職			次長相当職			課長相当職		
	(A)=(C+E+G)	(B)=(D+F+H)	(B/A)	(人)	うち女性数(D)	女性比率(%)	(人)	うち女性数(F)	女性比率(%)	(人)	うち女性数(H)	女性比率(%)	
本庁	計	240	31	12.9	24	1	4.2	67	7	10.4	149	23	15.4
	うち一般行政職	197	28	14.2	20	1	5.0	53	6	11.3	124	21	16.9
支庁・地方事務所等	計	148	24	16.2	4	0	0.0	27	1	3.7	117	23	19.7
	うち一般行政職	89	14	15.7	0	0		12	1	8.3	77	13	16.9
全体	計	388	55	14.2	28	1	3.6	94	8	8.5	266	46	17.3
	うち一般行政職	286	42	14.7	20	1	5.0	65	7	10.8	201	34	16.9
再掲	警察関係	52	1	1.9	7	0	0.0	12		0.0	33	1	3.0
	教育委員会	30	9	30.0	0	0		3		0.0	27	9	33.3

問7-2 職務上の地位別職員在職状況

調査時点コード		1:2022年4月1日			2:その他(西暦)		
		課長補佐相当職(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)	係長相当職(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)
		本庁	計	366	93	25.4	577
	うち一般行政職	264	85	32.2	397	155	39.0
支庁・地方事務所等	計	290	53	18.3	723	231	32.0
	うち一般行政職	157	30	19.1	271	83	30.6
全体	計	656	146	22.3	1300	405	31.2
	うち一般行政職	421	115	27.3	668	238	35.6
再掲	警察関係	202	29	14.4	427	55	12.9
	教育委員会	28	15	53.6	50	24	48.0

問7-3 新規昇任者数(2021年4月1日～2022年3月31日)

		課長相当職			課長補佐相当職			係長相当職		
		(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)	(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)	(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)
本庁	計	42	6	14.3	66	18	27.3	58	19	32.8
	うち一般行政職	34	6	17.6	49	17	34.7	40	17	42.5
支庁・地方事務所等	計	20	3	15.0	21	8	38.1	38	17	44.7
	うち一般行政職	15	2	13.3	11	5	45.5	12	7	58.3
全体	計	62	9	14.5	87	26	29.9	96	36	37.5
	うち一般行政職	49	8	16.3	60	22	36.7	52	24	46.2
再掲	警察関係	14	1	7.1	23	4	17.4	29	4	13.8
	教育委員会	6	1	16.7	9	3	33.3	7	0	0.0

問7-4 昇任・昇格等登用の考慮要素となる事項

	勤務成績	昇任試験		昇格試験		部局等の推薦	経年数	遠隔地での長期研修(4週間以上)	遠隔地での勤務経験	本人の希望	その他
		面接のみ	面接以外	面接のみ	面接以外						
課長級	○	○	○	○	○	◎				○	任用しようとするポストへの適正(人事課) 昇任・昇格しようとする職への適正(教育政策課)
補佐級	○	○	○	○	○	◎				○	任用しようとするポストへの適正(人事課) 昇任・昇格しようとする職への適正(教育政策課)
係長級	○	○	○	○	○	◎				○	任用しようとするポストへの適正(人事課) 昇任・昇格しようとする職への適正(教育政策課)

問7-5 昇任・昇格試験の受験者数(2021年4月1日～2022年3月31日)

	全受験者数(人)	女性受験者数(人)	女性受験率(%)
昇任試験	935	95	10.2
昇格試験			

問7-6 女性公務員の採用状況(2021年4月1日～2022年3月31日)

	総数(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)
全体	309	140	45.3
うち上級	153	80	52.3
うち一般行政職	143	69	48.3
うち上級	76	47	61.8
うち警察関係	56	11	19.6
うち上級	11	2	18.2

問7-7: 職員の通称又は旧姓の使用、明記した規定

1	1. 明記した規定があり、認めている。 2. 明記した規定はないが、運用上認めている。 3. 明記した規定がなく、運用上も認めていない。 4. 明記した規定がなく、過去に使用した事例も判断したこともない。
---	---

問7-8: 当該規定(規則、条例、別表等)の該当部分の規定

規則名	高知県職員旧姓使用取扱要綱・高知県企業局職員旧姓使用取扱要綱・高知県教育委員会事務局職員旧姓使用取扱要綱
該当部分の条文(本文)	第1条(趣旨) この要綱は、互いの個性が尊重され、働きやすい職場環境を整備するため、職員が婚姻、養子縁組その他の事由により戸籍上の氏を改めた後も、引き続き改姓前の戸籍上の氏を専ら職場において使用することに関して必要な事項を定めるものとする。

問7-9: 本庁の防災・危機管理部局への女性職員の配置状況

調査時点コード 1:2022年4月1日 2:その他(西暦)

防災・危機管理部局職員数(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)	うち管理職数(人)	うち女性数(人)	女性比率(%)
64	5	7.8	14	0	0.0

問8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

名 称	こうち男女共同参画センター		愛称・通称	ソール	
設置年月日(西暦)	1999年1月29日		施設形態	2	1. 単独施設 2. 複合施設
所在地等	郵便番号：780-0935 住 所：高知県高知市旭町3丁目115番地 電話番号：088-873-9100 FAX番号：088-873-9292 ホームページ：https://www.sole-kochi.or.jp				
管理・運営主体	1. 施設管理 直営(担当部局名： ) ○ 指定管理者(名称：公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団 ) その他( ) 2. 事業運営 直営(担当部局名： ) ○ 指定管理者(名称：公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団 ) その他( )				
職 員 数	常勤	11 人、	非常勤	0 人	予算額 2022年度 16,938 千円
主な事業 〔 男女共同参画・女性に 関するもの 〕 ※ 実施しているもの：○	○ 1. 広報啓発(主な事項 情報誌・ホームページによる啓発、啓発パネルの貸出 ) ○ 2. 講座(主な事項： 男女共同参画講演会・講座、DV防止講座、男性対象講座、子育て世帯講座 ) ○ 3. 相談事業(主な事項 男女共同参画への理解、女性問題の解決を目的に定期的に相談を実施 ) ○ 4. 情報収集・提供(主な事項： 男女共同参画に関する各種統計データを収集、分析し、広く県民に提供 ) ○ 5. 苦情処理(主な事項 ) ○ 6. 交流促進(主な事項 男女共同参画の推進に関する事業を実施した団体等の活動を支援するための助成事業実施 ) ○ 7. 企業・NPO法人との連携・働きかけ(主な事項： ) ○ 8. 国際交流・海外派遣事業(主な事項： ) ○ 9. 調査研究(主な事項 男女共同参画に関する各種統計データを収集・分析し、広く県民に提供 ) ○ 10. その他(主な事項： )				

問9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称	公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団		基金・基本財産額	10,000 千円
設置年月日(西暦)	1998年10月14日		出資者	高知県・高知市

問10 地方公共団体と民間団体(女性団体等)とのネットワーク

問10-1 各種女性団体連絡協議会等の有無	2	1. 有 問10-2 2. 無 名称等：	加盟団体数		
問10-3 地方公共団体からの助成・委託事業実施の有無	2	1. 有 2. 無	会 員 数		
問10-4 活 動 内 容 ※ 実施しているもの：○	1. 定例会議(情報交換会等)の開催 2. 機関誌の発行 3. 広報啓発パンフレット作成 4. その他 〔 内容： 〕				

問11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況(都道府県) ※該当するもの：○

1. 担当者連絡会議の開催 ○ 2. 市区町村職員研修会の開催 3. 市区町村アドバイザー養成講座等の開催 ○ 4. 関係情報の収集提供 ○ 5. 審議会等女性登用の働きかけ 6. 補助金等の交付 〔 名称： 概要： 〕 ○ 7. その他 〔 内容： 市町村男女共同参画基本計画策定の働きかけ 〕	
--	--

問12 職員研修の実績状況 ※実施しているもの：○

男女共同参画・女性問題に関する職員研修の実施

○ 1. 職員向けに、男女共同参画・女性問題をテーマとした講演会、研修会等を実施 ○ 2. 職員研修のプログラムの一部に、男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れ ○ 3. 国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修に職員を派遣 4. 男女共同参画の観点からの防災に関する研修の実施
--

女性職員の研修受講への配慮

○ 1. 女性職員を対象とした能力開発や管理職登用のための研修を実施 2. 研修受講職員の男女比を配慮 3. その他 〔 内容： 〕
--

問13 担当局(部)課(室)所管の男女共同参画・女性関係予算

事 項	2021年度予算 (千円)	2022年度予算 (千円)	備 考
関係予算総額(施設整備費を除く)	223,403	209,580	
上記関係予算が一般会計予算総額に占める割合	0 %	0 %	
男女共同参画・女性のための施設整備費	7,414	0	

問14 公共調達における男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス項目の設定状況

※該当するもの:○

		項目の設定
1	公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
2	物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	○
3	総合評価落札方式の一般競争入札を適用している場合における男女共同参画等の項目の設定	○
4	その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定(○の場合は(1)~(5)の該当項目に回答(複数回答可)してください。)	○
	(1) 指名競争入札又は随意契約により物品調達を行う際に認証している企業からの優先調達	○
	(2) 清掃、設備保守業務等の競争参加資格審査における項目の設定	○
	(3) 指定管理者公募選定における評価項目の設定	
	(4) プロポーザル方式における評価項目の設定	
	(5) その他(内容:	

↓ (具体的に実施している内容:○)

	問14-1	問14-2	問14-3	問14-4
	1 公共工事の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	2 物品の購入等の競争参加資格審査における男女共同参画等の項目の設定	3 総合評価落札方式による一般競争入札を実施している場合における男女共同参画等の項目の設定	4 その他の公共調達における男女共同参画等項目の設定
① 「えるぼし」認定、「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定、「ユースエール」認定を取得	○		○	
② 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)				
③ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○	○		
④ 地方公共団体が行う男女共同参画等に関する企業の認定・認証等を取得			○	○
⑤ 役員に占める女性割合に関する項目				
⑥ 管理職に占める女性割合に関する項目				
⑦ 役員や管理職への女性の登用促進のための取組(ポジティブ・アクション、数値目標の設定等)				
⑧ 仕事と育児・介護を両立するための取組(法定以上の育児・介護休業制度等)				
⑨ ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組				
⑩ 短時間正社員制度の導入				
⑪ 男性の育児・家事への参画促進に向けた取組				
⑫ ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(①~④を除く)				
⑬ その他			○	○

問15 男女共同参画等を推進している企業の登録・認定・認証、表彰制度の状況

		企業の登録・認定・認証制度	企業の表彰制度
企業の登録・認定・認証制度、表彰制度の実施の有無(1. 有 2. 無)		1	2
1	女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定、次世代法に基づく「くるみん」認定、「プラチナくるみん」認定又は若者雇用促進法に基づく「ユースエール」認定を取得		
2	女性活躍推進法又は次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定(努力義務企業のみ対象)	○	
3	役員に占める女性割合に関する項目		
4	管理職に占める女性割合に関する項目		
5	役員や管理職への女性の登用促進のための取組		
6	その他「登用促進等」に関する項目		
7	仕事と育児・介護を両立するための取組		
8	ノー残業デーの設定など労働時間縮減に向けた取組		
9	短時間正社員制度の導入		
10	男性の育児・家事への参画促進に向けた取組		
11	ワーク・ライフ・バランス関連表彰の受賞、認証実績(1、2を除く)		
12	その他		

→ 「企業の登録・認定・認証制度」の具体的な名称	高知県ワークライフバランス推進企業認証制度
→ 「企業の表彰制度」の具体的な名称	

問16 地域における女性活躍推進連携体制の構築状況

1 あり	1	→	女性活躍推進法第23条の「協議会」の具体的な名称	高知県女性の活躍推進連絡会
2 現在は無いが、今後検討する			上記以外の具体的な名称	

問17 男女共同参画に関するデータ集(白書等)の作成状況

問17 住民の状況や活動を男女別に明らかにすることを主たる目的とするデータ集(白書、データブック等)の公表	1	1. 有 2. 無	問17-1 名称	男女共同参画社会に関する県民意識調査
問17-1 公表周期	1. 定期 2. 不定期	1	定期の場合	5 年毎
公表主体 (※ 該当するもの:○)	○ 1. 男女共同参画・女性問題に関する事務を総括的に所管する課(室) 2. 統計情報に関する事務を総括的に所管する課(室) 3. 男女共同参画・女性のための総合的な施設の指定管理者 4. その他 ( )			

## 問18-1 2022年度実施予定事業

名 称	事 業 内 容 等	参加予定者数	時 期
1. 広報啓発 ・ 男女共同参画センター事業の案内 ・ 女性相談窓口の周知 ・ DV問題の理解促進 ・ 男女共同参画に関する意識啓発	広報誌、広報番組(テレビ・ラジオ)、SNS等の活用 啓発カードの配布、ポスター掲示、広報番組(テレビ・ラジオ)の活用 広報番組の記事、ポスター掲示 広報誌、広報番組(テレビ・ラジオ)の活用、庁舎等での啓発パネル掲示		通年 通年
2. 表彰 ・			
3. 講座 ・ 地域のDV問題に関する担当者講座 ・ DV問題の理解促進	市町村職員、民生委員、児童委員、社協職員等 DV防止啓発講演会の開催	100人	随時 11月
4. 相談事業 ・			
5. 情報収集・提供 ・ 男女共同参画に関する統計データ収集・提供	男女共同参画に関する統計データを収集し、ホームページ等を通じた、 情報提供を行う。		随時
6. 苦情処理 ・ 苦情調整委員による申し出の処理	男女共同参画に関する苦情の申し出があれば対応		随時
7. 交流促進 ・			
8. 企業・NPO法人との連携・働きかけ ・ DVネットワークの運営 ・ DV被害者支援団体等への支援 ・ DV被害者への協力企業づくり	DV被害者支援に関わる機関の連携強化 シェルターや自立支援に取り組む団体を支援 支援品提供、雇用、住居確保、研修等の連携した取り組み		随時 随時 随時
9. 国際交流・海外派遣事業 ・ DV被害者への支援	国際交流課との連携による外国人への通訳支援		随時
10. 調査研究 ・			
11. その他 ・ DVブロック別研修	関係団体との情報交換及び課題検討		9～10月

問19 都道府県議会の議員の両立支援体制等に関する調査

議 会 名	高知県議会		
議員の出産を欠席事由として明記した規定(産休を含む)の有無	1. 明記した規定がある。	1	
	2. 明記した規定はないが、運用上認めている。		
	3. 明記した規定がなく、運用上も認めていない。		
	4. 明記した規定がなく、過去に事例がない。		
(欠席事由として明記した規定がある場合について) 取得することが可能な休業期間	1. 労働基準法65条の産前産後期間よりも短い。	3	
【参考】労働基準法 第六十五条 使用者は、六週間(多胎妊娠の場合にあつては、十四週間)以内に出生する予定の女性が休業を請求した場合においては、その者を就業させてはならない。	2. 労働基準法65条の産前産後期間と同等。		
2. 使用者は、産後八週間を経過しない女性を就業させてはならない。ただし、産後六週間を経過した女性が請求した場合において、その者について医師が支障がないと認めた業務に就かせることは、差し支えない。	3. 労働基準法65条の産前産後期間よりも長い。		
	4. 期間の定めはない。		
出産に係る産前産後期間を明記した規定の有無	1. 産前産後期間を明記した規定がある。	1	
	2. 産前産後期間を明記した規定はない。		
規 則 名	高知県議会会議規則		
明記した規定(規則、条例、別表等)の内容	(欠席の届出)第2条 2 前項の規定にかかわらず、議員が出産のため出席できないときは、当該出産の予定日の8週間(多胎妊娠の場合にあつては、14週間)前の日から当該出産の予定日(議員が出生したときは、当該出産の日)後8週間(多胎妊娠による出産の場合にあつては、10週間)を経過する日までの範囲内で、出席できない期間を明らかにし、あらかじめ議長に届け出ることができる。		
休暇の期間の報酬について、減額の規定の有無	1. あり	2	
	2. なし		
	3. その他( )		
規 則 名			
明記した規定(規則、条例、別表等)の内容			
議会の欠席事由として、明記した規定の有無			
	1 明記した規定がある。	4	
	2 明記した規定はないが、運用上認めている。		
	3 明記した規定がなく、運用上も認めていない。		
	4 明記した規定がなく、過去に事例がない。		
配偶者の出産	4		
育児	4		
家族の看護	4		
家族の介護	4		
疾病	1		
その他	4		
議員の利用することのできる保育施設等の議会での設置・提供状況	1. 人員及び場所の設置または提供がされている。(臨時のものも含む)	4	
	2. 保育に必要な場所の設置または提供がされている。(臨時のものも含む)		
	3. 設置または提供する予定である。		
	4. なし		
議員の利用することのできる授乳室等の議会での設置・提供状況	1. 専用の場所が設置されている。(常設)	4	
	2. 授乳等に必要な場所の設置または提供がされている。(臨時のものも含む)		
	3. 設置または提供する予定である。		
	4. なし		
議会におけるハラスメント防止に関する取組	1. 行っている。	3	
	2. 行っていないが、今後、取り組む予定である。		
	3. 行っておらず、今後、取り組む予定もない。		
行っている取組 ※実施しているもの:○	1. ハラスメント防止に関する規定(倫理規定等)がある。		
	2. ハラスメントに関する議員向け相談窓口を設置している。		
	3. ハラスメント防止に関する議員向け研修を行っている。		
	4. その他 ( )		
規 則 名			
明記した規定(規則、条例、別表等)の内容			
(ハラスメント防止に関する議員向け研修を行っている場合) 内閣府が公表した教材動画「政治分野におけるハラスメント防止研修教材」の利用	1. 利用している。	2	
	2. 利用していないが、今後利用予定である。		
	3. 利用していない。		
男女共同参画に関する研修(ハラスメント防止に関するもの以外)	1. 行っている。	3	
	2. 行っていないが、今後、取り組む予定である。		
	3. 行っておらず、今後、取り組む予定もない。		
議会における通称又は旧姓使用の認可の状況	1. 明記した規定があり、認めている。	2	
	2. 明記した規定はないが、運用上認めている。		
	3. 明記した規定がなく、運用上も認めていない。		
	4. 明記した規定がなく、過去に使用した事例も判断したこともない。		
規 則 名			
条本文			
政治分野の男女共同参画のために実施していること			

問20 地域防災計画や避難所運営に関する指針(手引き・ガイドラインを含む)への、男女共同参画担当部局又は男女共同参画センターの具体的な役割の明確な位置付け

2	1. 位置付けられた規定がある。 2. 位置付けられていない。 3. その他(不明等) ( )
計画、指針名	
該当部分の規定	

調査時点コード: 2

1. 2022年4月1日 2. その他(西暦) ( 2022年5月1日 )

1. 都道府県における首長等の状況

知事	2	1. 女性 2. 男性	任期: 2019年12月7日 ~ 2023年12月6日
副知事		1 人 (女性 0 人、男性 1 人)	

2. 法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等の委員数等

※ 現在設置していないもの、又は審議会委員の任命をおこなっていないものには設置欄に×を付しています。

設置	審議会等名	委員総数(人)	うち女性委員数(人)	女性委員の割合(%)	備考
	1 都道府県防災会議(会長を含む)	60	6	10.0	
	都道府県防災会議(委員のみ)	59	6	10.2	
	1号 当該都道府県の区域の全部又は一部を管轄する指定地方行政機関の長又はその指名する職員	17	0	0.0	
	2号 当該都道府県を警備区域とする陸上自衛隊の方面総監又はその指名する部隊若しくは機関の長	1	0	0.0	
	3号 当該都道府県の教育委員会の教育長	1	0	0.0	
	4号 警視総監又は当該都道府県の道府県警察本部長	1	0	0.0	
	5号 当該都道府県の知事がその部内の職員のうちから指名する者	4	2	50.0	
	6号 当該都道府県の区域内の市町村の市町村長及び消防機関の長のうちから当該都道府県の知事が任命する者	3	0	0.0	
	7号 当該都道府県の地域において業務を行う指定公共機関又は指定地方公共機関の役員又は職員のうちから当該都道府県の知事が任命する者	29	1	3.4	
	8号 自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうち当該都道府県の知事が任命する者	3	3	100.0	
	2 国土利用計画地方審議会	11	5	45.5	
	3 土地利用審査会	7	3	42.9	
	4 都道府県交通安全対策会議	0	0		計画昨年度のみ設置
×	5 自然環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 自然環境保全審議会) ※6の審議会と統合している場合は6に人数を記入。当欄は空欄とし、備考欄に「6と統合」と記入する。				6と統合
	6 環境の保全に関する審議会その他の合議制の機関(旧 環境審議会)	22	11	50.0	
	7 精神医療審査会	32	14	43.8	
×	8 都道府県生活衛生適正化審議会				
	9 都道府県医療審議会	19	4	21.1	
	10 准看護師試験委員会	10	6	60.0	
	11 麻薬中毒審査会	5	0	0.0	麻薬中毒者の医療に関し学識経験を有する者に、女性が著しく少ない
	12 地方社会福祉審議会	28	10	35.7	
	13 障害者に関する審議会その他の合議制の機関	20	9	45.0	
	14 国民健康保険事業の運営に関する協議会	11	3	27.3	
	15 国民健康保険審査会	8	3	37.5	
×	16 都道府県農業共済保険審査会				事案発生時に委嘱
	17 都道府県森林審議会	12	6	50.0	
×	18 都道府県建設工事紛争審査会				事案発生時に委嘱
	19 建築審査会	7	3	42.9	
	20 都道府県建築士審査会	7	3	42.9	
	21 都道府県都市計画審議会	20	5	25.0	
	22 開発審査会	7	3	42.9	
	23 私立学校審議会	10	3	30.0	
×	24 石油コンビナート等防災本部				
	25 公害健康被害認定審査会	10	3	30.0	
×	26 窒素酸化物総量削減計画又は粒子状物質総量削減計画に定められるべき事項について調査審議する協議会(旧 総量削減計画策定協議会)				
	27 都道府県児童福祉審議会	19	5	26.3	
	28 地方港湾審議会	17	3	17.6	
×	29 土地区画整理審議会				
	30 教科用図書選定審議会	20	9	45.0	
	31 介護保険審査会	12	6	50.0	
	32 都道府県固定資産評価審議会	12	4	33.3	
	33 感染症の診査に関する協議会	5	1	20.0	
	34 警察署協議会	94	37	39.4	
	35 土地取用事業認定審議会	7	3	42.9	
×	36 住民基本台帳法 本人確認情報の保護に関する審議会				
	37 都道府県国民保護協議会	52	3	5.8	
	38 地方独立行政法人評価委員会	5	1	20.0	
×	39 市街地再開発審査会				
×	40 都道府県職員委員会				
×	41 自然再生協議会				
	42 審議会その他の合議制の機関(※公益認定等)	4	2	50.0	
	43 後期高齢者医療審査会	9	1	11.1	
	44 留置施設視察委員会	4	1	25.0	
	45 傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に関する基準の協議並びに実施基準に基づく傷病者の搬送及び傷病者の受入れの実施に係る連絡調整を行うための協議会	20	0	0.0	消防法に定める消防機関の職員、医療機関の管理者またはその指定する医師で構成しているが、該当する女性が著しく少ない
	46 指定難病審査会	5	0	0.0	指定難病に関し学識経験を有する者で、臨床経験の多い方で、該当する女性が著しく少ない
	47 小児慢性特定疾病審査会	3	0	0.0	知見を有する医師または関係者で臨床経験の多い方で、該当する女性が著しく少ない

48	行政不服審査会	5	1	20.0	
49	地域医療対策協議会	13	2	15.4	
50	幼保連携型認定こども園に関する審議会その他の合議制の機関	9	3	33.3	
51					
52					
53					
<b>合 計</b>		621	182	29.3	
<b>女性委員0の審議会数</b>		5			

## 3. 地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等の委員数

	委員会等名	委員総数 (人)	うち女性委員数 (人)	女性委員の割合 (%)	備 考
1	教育委員会	5	2	40.0	
2	選挙管理委員会	4	2	50.0	
3	人事委員会	3	0	0.0	関係機関等に委員の推薦を依頼したところ、男性のみの選出となった
4	監査委員	4	1	25.0	
5	公安委員会	3	1	33.3	
6	都道府県労働委員会	15	4	26.7	
7	収用委員会	7	3	42.9	
8	海区漁業調整委員会	15	2	13.3	
9	内水面漁場管理委員会	10	3	30.0	
<b>合 計</b>		66	18	27.3	
<b>女性委員0の委員会数</b>		1			